

# 認知症とともに 笑顔で生きる

～認知症の人から学ぶ、私たちにできること～



## 講師 丹野智文さん

日本認知症希望大使 みやぎ認知症応援大使

39歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断されながら、13年を経ても、トップランナーとして前向きに認知症の人の思いを発信を続ける丹野智文氏(ネットヨタ仙台)が、2013年の診断から今の思い、これまでの様々な工夫と、国内外の多くの認知症の人たちとの対話を通じ感じている思い、未来への思いを聞きます。

これからの社会を担う学生、地域包括ケアを支える医療・福祉関係者と広く市民の皆様とともに、認知症とは何か、認知症とともに生きるとは何か、「その人らしさ」とは何か、私たちは認知症とどう向き合っていくのかを共に考えたいと思います。

きっと、きたときよりも認知症への思いが少し変わり、肩の荷が少し下りる、そんな時間になればと思います。

18:15～ 講演「認知症とともに  
笑顔で生きる」  
19:15～「未来の看護職と丹野さん  
のディスカッション」

2026年 5月14日(木)18:10～19:50  
(開場17:40)

新潟県立看護大学 大ホール (上越市新南町240番地)

参加費 **500円**(資料代)(学生無料)

定員 300人(当日先着順)

主催 上越高齢者ケア勉強会 事務局  
お問い合わせ 新潟県立看護大学・大学院 老年看護学 原等子研究室  
電話 025-526-1164 メール naohara@niigata-cn.ac.jp

学生・教職員  
上越地域の保健・医療・福祉専門職  
一般市民の皆様  
どなたでもご参加できます

# 丹野智文さん 著書・関連書籍



## 『認知症の進行を早める生活、遅らせる習慣 認知症当事者・丹野智文と脳科学者・恩蔵絢子が本音で語る』

(丹野智文、恩蔵絢子 著 / 中央法規出版 / 2025年12月発行)

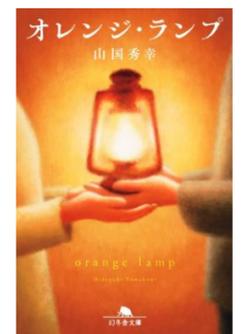
当事者の実感と脳科学者の視点を交え、認知症の進行にまつわる要因を本音で語り合った一冊。



## 『認知症の私が、今を楽しく生きる理由(わけ):「生活の工夫」と家族・仲間の力』

(丹野智文 著 / 中央法規出版 / 2025年6月発行)

診断から十数年が経ち、進行を自覚しつつも楽しく生きるための具体的な工夫やピアサポートの重要性をまとめた最新エッセイ。



## 『オレンジ・ランプ』

(山国秀幸著 / 幻冬舎文庫 / 2023年4月発行)

丹野智文さんをモデルにした認知症を診断された39歳のトップセールスマンの夫婦、家族の物語



## 『認知症の私から見える社会』

(丹野智文 著 / 講談社+α新書 / 2021年9月発行)

診断後の絶望から立ち直り、社会の偏見に疑問を投げかけながら「認知症になっても大丈夫」と力強く伝える新書。



## 『認知症とともにあたりまえに生きていく:支援する、されるという立場を超えた9人の実践』

(矢吹知之、丹野智文、石原哲郎 ほか共著 / 中央法規出版 / 2021年6月発行)

当事者、医療者、研究者など、それぞれの立場から認知症との共生に向けた実践を紹介した共著。



## 『丹野智文 笑顔で生きる -認知症とともに-』

(丹野智文、奥野修司 著 / 文藝春秋 / 2017年7月発行)

トップセールスマンだった丹野氏が39歳で診断を受け、そこから周囲のサポートを得て笑顔を取り戻すまでの軌跡を追った感動のドキュメンタリー。



## 『認知症になっても人生は終わらない 認知症の私が、認知症のあなたに贈ることば』

(丹野智文、樋口直美 ほか共著 / 日本放送出版協会 / 2017年4月発行)

若年性認知症の当事者たちが、同じ当事者や社会に向けて綴ったメッセージ集。